

PianoEngine

PEK32S

GM 音源 (128 音色) ・スピーカー内蔵 USB 対応 MIDI キーボード

取扱説明書

TAHERNG

はじめに

安全上のご注意～必ずお読みください～

- 表示された電圧でご使用ください。表示以外の場合、火災、感電、破損の原因になります。
- 本機の裏ぶたやカバーを開けたり、分解、改造をしないでください。火災、感電、破損の原因になります。修理はお買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 本機は湿気の多い環境、高い温度の場所、日光が直接あたる場所での使用は避けてください。
- 長い時間使用しない場合は電源を切り、充電電池をとり外してください。
- ラジオまたはテレビの近くでは受信する電波に影響を与える場合があります。これらの機器とは十分な距離を取ってご使用下さい。
- 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用による損害に関して、当社は一切責任を負いません

本取扱説明書は大切に保管してください。

イントロダクション

この度は、Tahornr Piano Engine K32s をお買い上げいただき誠にありがとうございます。Piano Engine K32s はコンパクトな 32 鍵キーボードに、GM 対応の高音質音源とスピーカーを搭載した大変便利な MIDI キーボードです。

USB 接続で DAW などの MIDI 入力用キーボードとして使用できるほか、ライブやレッスン用の簡易キーボードとしても活躍します。また、充電式バッテリーに対応しておりますので、本体だけで音を出すことができ、アウトドア環境でも音楽を楽しめます。

内蔵音色は GM 準拠の 128 音色に加えて、ブラシセットやオーケストラセットを含む 5 種類のドラムセットを搭載。

さらにリバーブも搭載しており、高音質なサウンドをいつでもどこでも手軽に楽しむことができるパーソナル・ミニ・キーボードです。

主な特徴

- 32 鍵キーボード
- 128 音色、5 ドラムセットを搭載
- スピーカー内蔵
- トランスポーズ機能を搭載
- オクターブシフトボタンを装備
- Shift ボタンとキーボードスイッチで簡単なオベレーション
- ピッチベンドスライドパッドを装備
- データエンコーダーおよびスライダーを搭載
- 充電式乾電池専用仕様（USB 給電で充電可能）
- USB バスパワー駆動可能

仕様

接続端子

- ・ USB-B タイプ（PC 接続用）
- ・ サスティンペダル端子
- ・ 3.5mm ステレオヘッドフォン端子（内蔵 GM 音源用）

電源仕様

- ・ USB バスパワー（500mA 以下）
- ・ 3.6V（充電式 1.2V ニッケル水素電池）（内蔵 GM 音源用）

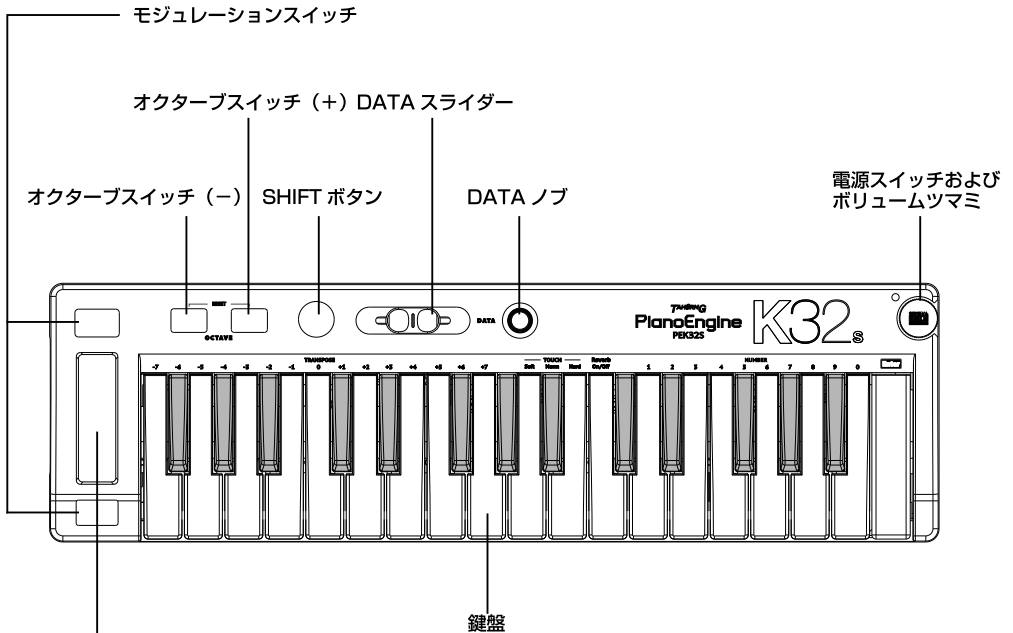
寸法・重量

- ・ 424 × 117 × 31mm
- ・ 1Kg

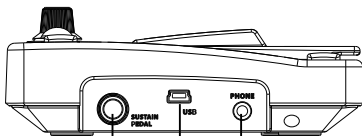
付属品

- ・ USB ケーブル、取扱説明書

各部の名称



※ SHIFT ボタンと組み合わせると鍵盤上に記載されている機能のボタンとして動作します。



サスティンペダル端子

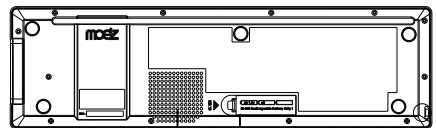
ノーマルクロスタイプのサスティンペダルを接続して使用します。極性の変更はできません。

USB 端子

PC (Windows または MAC) と接続して MIDI キーボードとして使用することが可能です。また、電源を供給すると内蔵充電電池に充電が可能です。

ヘッドホン / ライン出力端子

3.5mm のミニステレオジャックタイプのヘッドフォンを接続すると、内蔵 GM 音源の音を聞くことができます。また、モニタースピーカーなどに接続して使用する際もこの端子を使用します。



スピーカー

本体内蔵のスピーカーです。ここから音が出ます。

電池ボックス

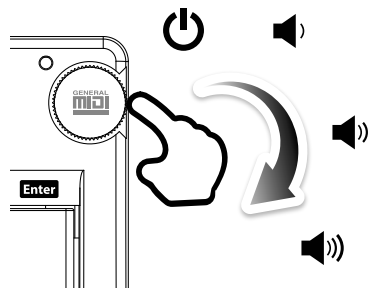
充電式の電池を入れる電池ボックスです。フタを開けて充電電池を交換することができます。

PC と接続して使用する場合の要件

Windows	MacOS
Pentium 3.8GHz以上	Macintosh G3*800/G4*733MHz以上
ノートPCでは上記より高いスペックが要求される場合があります。	ノートPCでは上記より高いスペックが要求される場合があります。
メモリ 256 MB 以上	メモリ 256 MB 以上(OS X 10.3.9)
Direct X 9.0b 以上	メモリ 512 MB 以上(OS X 10.4.2)
Windows XP (SP2) 以上 *Windows 98.Me.NT.2000は非対応	*G3/G4 搭載のアクセラレーターには対応していません。

電源の入れ方～音量調節

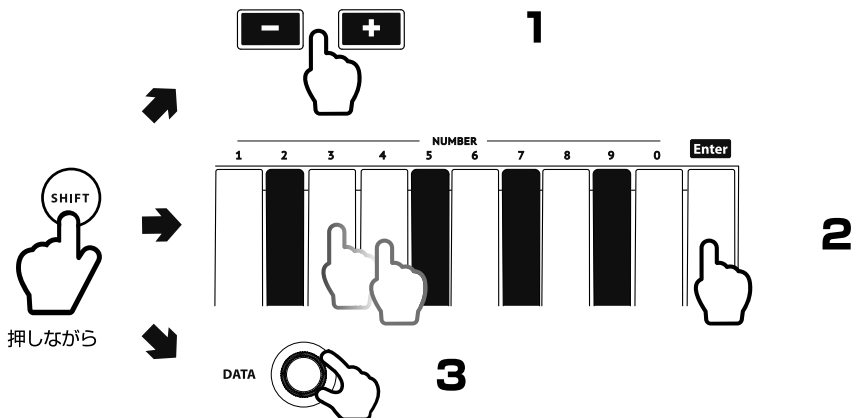
■ 充電池を装着した状態（充電池の交換を参照）で、右図のボリュームつまみを時計回りに回します。「カチッ」と音がするまで回すと電源が入ります。鍵盤を弾くとピアノの音色が出ますので、ボリュームつまみを調整して適当な音量に調整して下さい。時計回りに回しきった状態が最大音量となります。



音色の切り替え

■ 音色の切り替えは3つの方法があります。

1. SHIFT ボタンを押しながら、現在の音色番号から進めたい（戻りたい）数だけオクターブスイッチを押してから SHIFT ボタンを離すと、右ページの音色番号どおりに切り替わります。例えば、1.Grand Piano の状態で+ボタンを5回押すと 6.E.Piano 2 に切り替わります。
2. SHIFT ボタンを押しながら、上部に NUMBER と書いてある鍵盤を使って指定したい音色番号を入力し、Enter の鍵盤を押してから SHIFT ボタンを離すと、右ページの音色番号どおりに切り替わります。例えば 66.Alto Sax に切り替えたい場合は、SHIFT ボタンを押しながら 6 と記載されている鍵盤を 2回押して Enter の鍵盤を押してから SHIFT ボタンを離します。
3. SHIFT ボタンを押しながら、DATA ノブを回すとノブのクリック（カタカタと切り替わります）に合わせて右ページの音色番号どおりに音色番号が上下します。希望の番号まで進めたら（戻したら）SHIFT ボタンを離すと切り替わります。右に回すと数値が上がり、左に回すと数値が下がります。



音色表

ノーマルボイス

1	ピアノ 1	33	アコースティック ベース	65	ソプラノ サックス	97	Fx 1(レイン)
2	ピアノ 2	34	フィンガー ベース	66	アルト サックス	98	Fx 2 (サウンドトラック)
3	ピアノ 3	35	ピック ベース	67	テナー サックス	99	Fx 3 (クリスタル)
4	ホンキートンク	36	フレットレス ベース	68	バリトン サックス	100	Fx 4 (アトモスフィア)
5	E.ピアノ 1	37	スラップ ベース 1	69	オーボエ	101	Fx 5 (ブライトネス)
6	E.ピアノ 2	38	スラップ ベース 2	70	イングリッシュ ホルン	102	Fx 6 (ゴブリン)
7	ハーブシコード	39	シンセ ベース 1	71	バスーン	103	Fx 7 (エコーズ)
8	クラビネット	40	シンセ ベース 2	72	クラリネット	104	Fx 8 (SFX)
9	チェレスタ	41	バイオリン	73	ピッコロ	105	シタール
10	グロッケン	42	ビオラ	74	フルート	106	バンジョー
11	ミュージックボックス	43	チェロ	75	リコーダー	107	三味線
12	ピブラフォン	44	コントラバス	76	パンフルート	108	琴
13	マリンバ	45	トレモロ スtrings	77	ボトルブロー	109	カリンバ
14	シロホン	46	ピチカート	78	尺八	110	バグパイプ
15	ティンカーベル	47	ハーブ	79	ホイッスル	111	フィドル
16	ダルシマー	48	ティンパニ	80	オカリナ	112	シャナイ
17	オルガン 1	49	Strings	81	リード 1 (スクエア)	113	ティンカーベル
18	オルガン 2	50	スロー Strings	82	リード 2 (ソートゥース)	114	アゴゴ
19	オルガン 3	51	シンセ Strings 1	83	リード 3 (カリオペ)	115	スティールドラム
20	チャーチ オルガン	52	シンセ Strings 2	84	リード 4 (クリフ)	116	ウッドブロック
21	リード オルガン	53	クワイア Aahs	85	リード 5 (チャラング)	117	太鼓
22	アコーディオン	54	ボイス Oohs	86	リード 6 (ボイス)	118	メロディックタム
23	ハーモニカ	55	シンセ ボックス	87	リード 7 (5th)	119	シンセ ドラム
24	バンドネオン	56	オーケストラヒット	88	リード 8 (ベース+リード)	120	リバースシンバル
25	ナイロン ギター	57	トランペット	89	パッド 1 (ニューエイジ)	121	ギター フレットノイズ
26	スティール ギター	58	トロンボーン	90	パッド 2 (ウォーム)	122	プレスノイズ
27	ジャズ ギター	59	チューバ	91	パッド 3 (ポリシンセ)	123	シーショア
28	クリーン ギター	60	ミュートトランペット	92	パッド 4 (クワイア)	124	パード
29	ギター ミュート	61	フレンチホルン	93	パッド 5 (ボウ)	125	テレホン
30	オーバードライブギター	62	ブラス	94	パッド 6 (メタリック)	126	ヘリコプター
31	ディストーションギター	63	シンセ プラス 1	95	パッド 7 (ハロー)	127	アプローズ
32	ギター ハーモニクス	64	シンセ プラス 2	96	パッド 8 (スイープ)	128	ガンショット

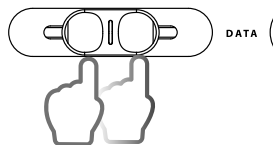


ドラムセット

211	スタンダードセット
212	パワーセット
213	ブラシセット
214	オーケストラセット
215	CM-64/32 セット

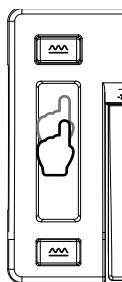
ブライツネスの変更

■ DATA スライダーを動かすと、音のブライツネス（ローパスフィルターのカットオフリケンシー）を変更することができます。右に動かすと音が明るくなり、左に動かすと暗く（こもったように）なります。※既に出ている音に対しては効きません。必ず鍵盤を弾き直してください。

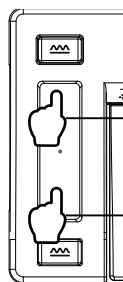


ピッチベンドスライドパッド

■ ピッチベンドスライドパッドはパッドに触れながら指を上下させることで、鍵盤で弾いた音の音程を連続的に上下することができます。また、任意の場所をタッチすると瞬間的にその音程にピッチを変化させることもできます。



指をスライドさせると、ピッチが連続的に上下します。



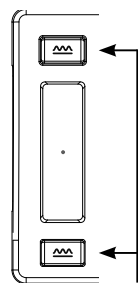
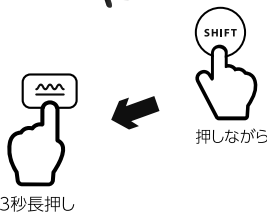
中央より上をタッチするとピッチが上がります。

中央より下をタッチするとピッチ下がります。

モジュレーションスイッチ

■ モジュレーションスイッチは上下に2つ搭載されており、モジュレーション（ビブラート）とサスティンペダルの2種類の機能を任意に割り当てて使用することができます。初期設定ではどちらもモジュレーションに設定されていますが、Shift ボタンと変更したい側のモジュレーションスイッチを同時に3秒以上押しすと機能が切り替わります。モジュレーションスイッチが赤く点灯したときはモジュレーションとなり、青く点灯したときはサスティンペダルとなります。

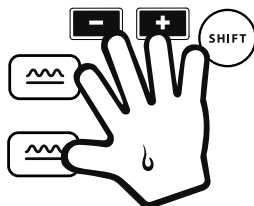
モジュレーション ↔ サスティンペダル



2つのスイッチを同じ機能にしても違う機能にしても使用可能。

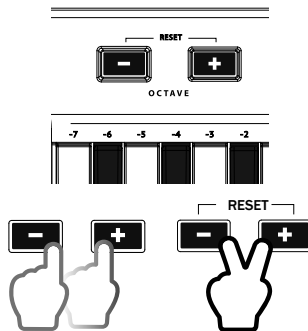
ファクトリーリセット（初期化）

■ 右の図のように、上下のモジュレーションスイッチとオクターブ-、オクターブ+、Shift ボタンの5つのボタンを同時に3秒以上押し続けると、ボタンが点滅し工場出荷時の初期状態にリセットされます。



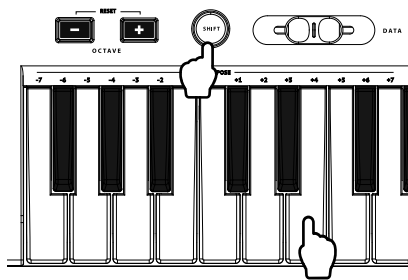
オクターブの変更

■ オクターブの変更は、オクターブスイッチで行います。+ ボタンを押すとボタンが黄色く点灯し、1 オクターブ上にシフトします。もう一度+ ボタンを押すとボタンが青く点灯し、さらに1 オクターブ上にシフトします。もう一度+ ボタンを押すとボタンが紫色に点灯し、さらに1 オクターブ上にシフトします。- ボタンを押すと1 オクターブずつ下にシフトします。プラス方向と同様に黄色、青、紫の順で最大3 オクターブシフトすることができます。また、オクターブをリセットしたい場合には、+ ボタンと- ボタンを同時に押します。



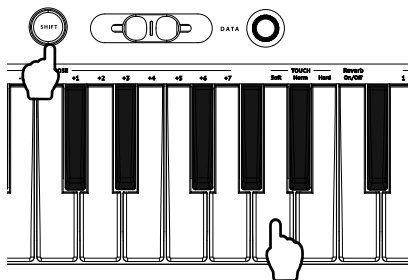
トランスポーズ（移調）

■ 半音ずつトランスポーズさせたいときは、Shift ボタンを押しながら TRANSPOSE (-7 ~ +7 の数字) が記載されている鍵盤を押します。Shift ボタンを離すと押した鍵盤の数値でトランスポーズすることができます。例えば +4 の鍵盤を押したときは4 半音上になります。（常に0 の位置からのトランスポーズ値を示しています。）



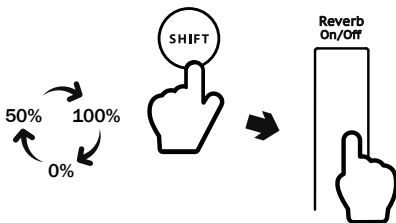
キータッチの変更

■ Shift ボタンを押しながら TOUCH の表示がある Soft、Norm、Hard のいずれかの鍵盤を押して Shift ボタンを離すと鍵盤のタッチを変更できます。Soft では優しく弾いたときに小さな音（ペロシティー）が出るようになり、Hard では優しく弾いても大きな音（ペロシティー）が出るようになります。Norm は Soft と Hard の中間のニュアンスとなります。



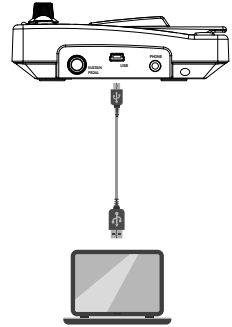
リバーブの変更

■ Shift ボタンを押しながら Reverb On/Off の表示がある鍵盤を押して Shift ボタンを離すとリバーブの量を変更できます。上記の動作を一回行うごとに、リバーブ Off > リバーブ 50% > リバーブ 100% の3 つのリバーブ量を繰り返して設定されます。



PC との接続

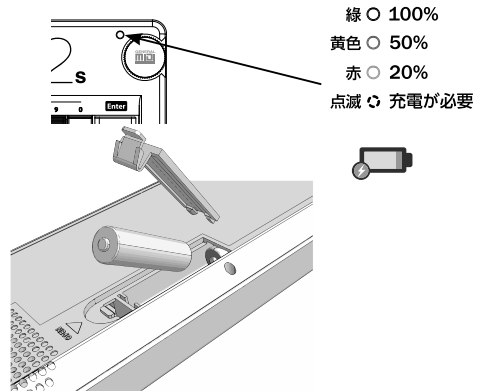
■ 付属の USB ケーブルを使用して PC の USB 端子と接続することで、DAW ソフトウェアなどの MIDI キーボードまたは MIDI 音源として使用することが可能です。USB で接続中は Shift ボタンが青く点灯します。MIDI 入力用キーボードとして使用する際には、電源ツマミをオンにする必要はありません。ただし、DAW 側から K32s の内蔵 GM 音源を鳴らす場合には、電源ツマミをオンの状態（ボリュームを適宜調整して下さい）で使用して下さい。



K32s で MIDI 入力を行う場合は、DAW 側の入力用 MIDI ドライバを選択する部分で「K32s」というドライバを選択して下さい。また、K32s の音源を DAW 側から鳴らしたい場合は、MIDI の出力先に「K32s」を選択して下さい。

充電電池の交換

■ 電源スイッチおよびボリューム脇 LED の色によって、電池の残量を確認できます。右図のように緑（100%）、黄色（50%）、赤（20%）、点滅（充電が必要）となっていますので、必要に応じて USB ケーブルを接続して充電を行って下さい。なお、充電電池の交換は背面の電池ボックスを開けて行って下さい。使用できる電池は充電式の単三サイズの充電電池です。一般的なアルカリ電池など、充電できないタイプの電池は使用しないで下さい。



保証書

保証規定

本保証書による電子部品の保証期間は、製品ご購入の日から 1 年間です。保証期間内に取扱説明書の注意事項にしたがった正常な使用状態で本製品が故障した場合には、無償での修理（または交換）をいたします。なお、保証期間内であっても次に該当する場合は有償修理となります。

- ① お客様の不適切な取扱いによる故障の場合
- ② 故障の原因が当社の責に帰さないとき
- ③ 本製品の本来の使い方以外で使用の場合
- ④ 火災・天災・第三者による行為などによる故障・損傷
- ⑤ 誤った接続、操作による故障及び損傷
- ⑥ ご購入後の輸送、移動、落下などによる故障・損傷

故障、修理等のご相談ならびに各種サポートにつきましては、本保証書並びに購入日、購入店名がわかるレシート等をご用意の上、弊社サポートサイトよりご連絡下さい。

本製品のサポートにつきましては、下記サポートサイトにてユーザー登録の上、お問い合わせ下さい。

サポートサイト

http://www.fineassist.jp/support/contact_support/

QR コード→



保証書	
製品名	Piano Engine K32s
お買い上げ日	年 月 日
保証期間	お買い上げ日より 1 年間
お客様情報	住所
	氏名
	TEL _____ e-mail _____
購入店	

Tahorng 日本輸入代理店

〒461-0004 名古屋市東区葵 2-3-13 みねビル 3F
株式会社ファインアシスト